

ふれあいネットワーク じょうえつ

第143号

平成27年10月1日発行

社協だより

発行：社会福祉法人 上越市社会福祉協議会
上越市寺町 2-20-1 上越市福祉交流プラザ内
☎：025-526-1515 FAX：025-526-1230
ホームページ
<http://www.jouetushisyakyo.jp/>

ふ く し

福祉ってなんだろう？

共にまき、共に育てる『福』の種



「福祉って？」と、新潟県立直江津中等教育学校2年生の生徒の皆さんがみんなで考え、話し合っている様子。

も く じ

- 福祉ってなんだろう？ 学校で、職場で、地域で共に育てる「福祉^{きょういく}共育」 2～3 ページ
- じぶんの町を良くするしくみ「赤い羽根共同募金運動」 4 ページ
- 地域でキラリ、障がい福祉サービス 5 ページ
- お知らせ、善意の寄附に感謝を込めて 6～7 ページ
- 平成27年度上越市社会福祉大会『みんなの学校』上映会など 8 ページ

社会福祉協議会の
共に学び育てる
ふくし きょういく
「福祉共育」とは…

1 「体験する」

高齢者疑似体験
アイマスク体験

など

2 「気づく」

体験したことを
一緒に振り返る

3 「参加する」

福祉施設へのボランティア訪問
地域活動への参加
盲導犬育成募金活動への参加
など

4 「考える」

自分に何ができるかを
一緒に考える

「福祉」という言葉は、耳慣れたものですが、どこか遠い存在に感じられている人も多いのではないのでしょうか。

「分からない」、「知らない」ことで誤解などを生むことにもつながります。自ら考え、体験を通して知ること、学ぶこと、そして私たちが暮らす社会にはどのような

人たちがいるのか、身近な普段の暮らしを見つめ直すことも大切なことです。

「福祉ってなんだろう？」と考えた市内の小学生や中学生が、「福祉共育プログラム」に参加し、一緒に学んだ様子や感想を紹介します。

福祉共育

学校で、職場で、地域で共に育てる

福祉共育

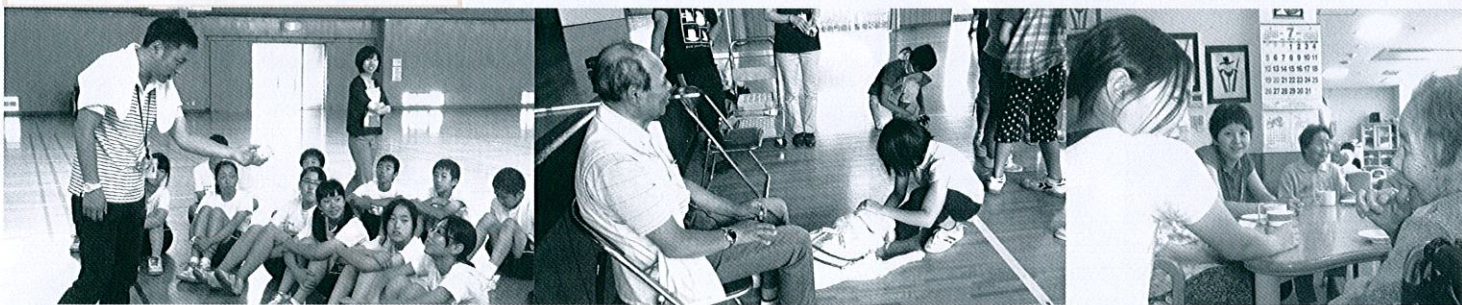
ご紹介します！



新潟県立
直江津中等
教育学校
2学年の皆さん



上越市立
針小学校
6年生の皆さん



普段の暮らしを幸せに

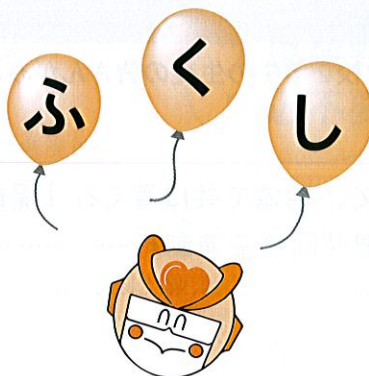
いろいろな人の、さまざまなか「がい」を認め合いながら、自分らしく生き生きと暮らしていく。

「ふ」ー普段の

「く」ー暮らしを

「し」ー幸せに

「ふくし」の言葉の中に見つけた、『普段の暮らしを幸せに』という想い。私たちが改めて、身近な暮らしに目を向けてみましょう。



共に生き共につくる福祉社会の実現をめざして

だれもが住み慣れた地域で、心豊かな健やかで、生きがいのある生活を。

福祉が息づく住み良いまちづくりを私たちで共に考え、学び、育て、つくり上げていきましょう。



「約80歳」の体を知る「高齢者疑似体験」
ヘッドフォンを付けると耳が聞こえにくくなり、また、ゴーグルを付ければ視野が狭くなつて見えにくくなります。
手首足首のおもりは、体全体を重くして、ひざなどに着けた装具は関節を曲がりにくくします。

「手伝ってあげたいと思った。」



「これから進みます。」
「段差を超えるので車いすが傾きますよ。」

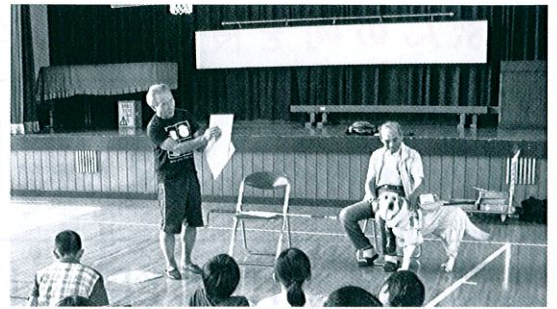
「乗っている人は怖いのだな」と分かりました。声をかけてもらえると乗っていて安心でした。」

「車いす体験」

車いすに乗っていて、急に進んだり、傾いたり、突然止まったりしたら、どんな気持ちでしょう。



「企業や団体、町内会などでも」
消防署の皆さんも、避難救助の時に役立てるため、車いす体験をしました。学校以外でもご要望に合わせて行っています。



視覚障がいについて学びました。

「福祉施設への訪問体験」

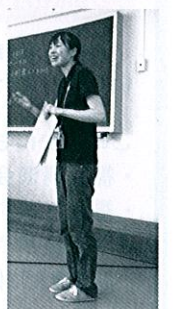
高齢者疑似体験をもとに、福祉施設へ訪問しました。訪問前に、どうしたら利用者の皆さんと仲良くなれるかを考え、「風船バレー」をしました。

「おじいちゃん、おばあちゃんが元気で笑顔になってくれてうれしかった。」
『福祉』は、人と人がふれ合うことで、つながり合うことだと思います。」

（「福祉共育」を体験した小中学生の感想より）



お気軽にどうぞ



共に学び育てる

『福祉共育プログラム』

学校、企業、団体、サークル町内会などへ、社会福祉協議会の福祉専門職員が講師や、コーディネーターとなり、地域の福祉を育てる活動を行っています。

『福祉共育』に関するお問い合わせ・ご相談は

上越市社会福祉協議会の各支所又は、地域福祉課までご連絡ください。



さまざまな専門スタッフが講師を務めます。

地域をつくり支える

『赤い羽根共同募金』

この活動は、皆さまからご協力いただいた「赤い羽根共同募金」をもとに取り組んでいます。詳しくは、次のページをご覧ください。

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金運動

愛ちゃんと
希望くん



ありがとうの気持ちをかたちに

運動期間：10月1日～12月31日

1947(昭和22)年に、「国民たすけあい運動」として始まって以来、赤い羽根募金として広く定着してきました。募金運動は、都道府県ごとに行われ、災害時などを除き、集まった募金は新潟県内で使いみちが決められます。私たちの地域で「福祉のまちづくり」が広がっていくよう、社会や地域の課題を解決するための活動を行う団体に助成されています。

平成27年度の赤い羽根共同募金で
目標とする金額

32,496,000円

赤い羽根共同募金は、事前に必要とされる額を定めて集める「計画募金」です。助成額を決めてから募金(寄附)を集めていきます。そして、集まった募金(寄附)の約7割は、その募金が行われた地域で使われ、残りの3割は、市区町村を超えた県内の福祉課題のために活かされます。

・ 合併前上越市：15,211,000円	・ 柿崎区：1,854,000円	・ 板倉区：1,832,000円
・ 安塚区：1,053,000円	・ 大湊区：2,019,000円	・ 清里区：722,000円
・ 浦川原区：1,598,000円	・ 頸城区：1,978,000円	・ 三和区：1,167,000円
・ 大島区：619,000円	・ 吉川区：1,311,000円	・ 名立区：903,000円
・ 牧区：813,000円	・ 中郷区：1,416,000円	

◆ 企業・団体の皆さまからの社会・地域貢献活動も受付けています。

平成26年度の共同募金の
使いみち

募金実績額

33,441,825円

皆さまのご協力で集まった募金は、下記の福祉活動に使われました。

福祉施設の送迎車両の整備に。 1,941,000円

NPO 法人ボブラの家へ配備(平成26年度)

車両のドアが開き、毎朝元気よくご利用者が降りてくる姿は、大変うれしい光景です。

ふれあい支え合いマップづくりに。 800,204円

身近な地域での住民同士のつながりを地図にし、「支え合い」や「助け合い」の輪を広げる活動に取り組みました。

このほかにも、下記の活動に使われました。

- ・ 福祉講演会や福祉まつりの開催
- ・ 福祉に関する広報紙の発行
- ・ 地域住民や子どもたちへ福祉の関心を高める取り組み
- ・ 災害発生に備えたボランティアコーディネートの仕組みづくりなど

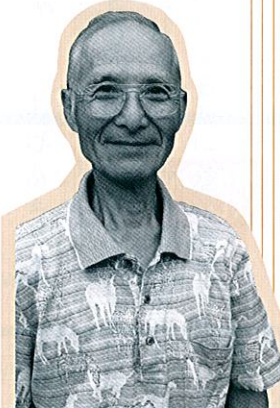


稲田3丁目ふれあいいきいきサロンの様子

※使いみちは、(福)中央共同募金会や(福)新潟県共同募金会のホームページでもご覧いただけます。

地域でキラリ

やすづか学園菱里地域支援委員会会長 和栗昌夫さん



安塚区にある全寮制フリースクール「自由の学び舎・やすづか学園」を物心両面から支援する「菱里地域支援委員会」の3代目会長が和栗昌夫さんです。

同支援委員会は、平成8年の学園創立と同時にその趣旨に賛同した地元の菱里地域自治会（現在11自治会、227世帯）の各種団体役員約50名が会員となり設立されました。

「地元を離れて寮生活を送る子どもたちに、地域の温もりを感じてほしい。」と語る和栗さん。焼肉大会や収穫感謝祭、塞の神、手打ちそば作りなど、同支援委員会が企画する地域ならではの行事は盛りだくさんで、この他にも、中山間地ならではの稲作体験指導や、園舎周辺の草刈り、冬越しの給食食材の寄附集めなど、生徒の心と体の成長を地域一体となって後押しされています。

今年度、やすづか学園は創立20周年を迎え、去る7月19日に開催した記念式典当日には、今春巣立った15歳の高

校生をはじめ、34歳になった社会人まで、31名の「子どもたち」が駆けつけてくれました。和栗さんは、「これまで144名の子どもたちが学校復帰や高校進学を果たしました。ひとえに地域の皆さんの理解と協力のおかげです。」と感謝されています。

地域の高齢化や人口減少などの課題を抱えながらも、「学園へ支援していくことで地域も元気になれる。これから子どもたちが笑顔になれるよう、地域の皆さんと支援を続けたいですね。」と意気込んでおられます。



創立20周年記念式典での、卒業生によるバンド演奏の様子

どうぞご利用ください
平成27年10月事業開始

○障害短期入所サービス（空床利用型）

「いいの里あさひ」、「コミュニティナイトホームすいせんの里」で新たな事業を開始します。

冠婚葬祭やご家族の病気等で一時的に介護ができない時など、居宅時での介護負担の軽減にご利用ください。

今後は左記の5施設で事業を実施します。

- ・いいの里あさひ 025・539・3148 担当…長島
- ・コミュニティナイトホームすいせんの里 025・529・2231 担当…丸山
- ・安塚やすらぎ荘ショートステイ 025・592・3002 担当…石塚
- ・くびきの里ショートステイ 025・546・5113 担当…三浦
- ・コミュニティナイトホームみやまの里 025・5178・2346 担当…古海

○生活介護事業

ふれんどりーミルはまなす

（目的）

上越市内の福祉サービスを強化し、障がい者及び家族の福祉の増進を図ります。

（内容…定員6名）

障がいのある方が自立した日常生活や、社会生活を営むことができるように、排泄、食事の介護、創作的活動、生産活動の機会提供等、個別の生きがい支援を行います。

025・536・6200 担当…中川



インフォメーション

災害ボランティア 講演会

大規模な災害が発生した時には、ボランティアの力が重要です。

日 時：11月7日(土)

午後2時～午後4時
(午後1時30分開場)

場 所：妙高市勤労者研修センター
(妙高市上町9-3)

演 題：「いのちを守る・くらしを支える」
～災害支援の現場から見たもの～

講 師：にいがた災害ボランティア
ネットワーク 李 仁鉄 氏

対象者：上越市又は妙高市内にお住いの方

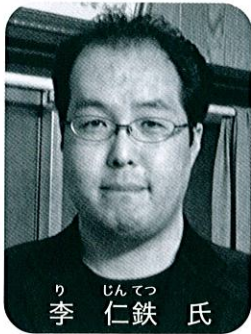
参加費：無料

定 員：100名(先着)

申込締切日：10月30日(金)まで

申込み：地域福祉課

問合せ：☎025・526・1515



李 仁鉄 氏

福祉の店

「パレット」移転

障がい者の皆さんが心を込めた製品を販売している福祉の店「パレット」が移転します。

9月20日に、現在のイオン上越店内の店舗を閉店し、10月1日から次の施設に移転し、営業を再開します。これからも、ご愛顧よろしくお願いします。

● 移転先：上越老人福祉センター

春日山荘内(春日山町1-12-12)

☎ 025・525・4610

FAX 025・520・4838



インストラクター認定・ 養成講座

～NPO法人車椅子レクダンス
普及会上越支部「矢車草の会」～

日 時：11月15日(日)

場 所：上越市福祉交流プラザ体育館
(寺町2-20-1)

☎025・527・2525

※当日は上履き靴をお持ちください。

● 参加費：3,000円(教材費・DVD・年会費等)

● 申込締切日：10月30日(金)まで

● 申込方法：氏名・住所・電話番号を、ハガキや電話

● FAXのいずれかでお申し込みください。

● 問合せ：上越支部長 大沢 宏(寺町3-22-26)

☎025・525・9088 (FAX兼用)

里親になりませんか



里親制度は、児童福祉法に基づく制度です。

事情により家庭に恵まれない子どもを自分の家庭に迎え入れ、深い愛情と理解をもって育てていく制度です。

里親には、養育里親、専門里親などがあり、里親になるには県から認定を受け、登録される必要があります。

詳しくは、上越児童相談所(☎025・524・3355)

又は、里親会上越支部 平山(☎025・525・5251)まで



皆さまからのご意見をお待ちしています。また、福祉団体やボランティア団体からの掲載記事もお待ちしています。

【連絡先】 上越市社会福祉協議会 総務課

☎025-526-1515・FAX025-526-1230 Eメール：jsk-jouetu@jouetushisyakyo.jp



善意の寄附に感謝を込めて…

心のかよいあう、あたたかいまちづくりのため、皆さまからのご浄財を地域福祉に使用させていただきます。

大変ありがとうございました。(寄附金額 1 万円未満はご芳名のみ掲載。順不同・敬称略)

6月1日から8月31日まで

社会福祉事業のために

●本所

一般財団法人上越市環境衛生公社	192,600 円
近宮和夫	15,000 円
直江津高校商業科 39 会有志一同	11,307 円
上越ゲートボール連盟	50,000 円
株式会社エム・アイ・ディジャパン	46,510 円
株式会社ユアテック上越営業所	支援資金

●安塚支所

匿名	支援資金
----	------

やすづか学園

小林正秋、秋山正道、竹内寛、竹内康子
三浦礼子、新潟県教職員組合上越支部
菅野千秋、涌井國男、坂上賢治、中村修治
支援資金

●蒲川原支所

YOU 経済同友会	支援資金
-----------	------

●柿崎支所

柿崎いちもく会	20,000 円
ふれんどり〜ミルはまなす	
柿崎銘菓研究所(直海浜)	10,000 円

●大潟支所

大潟建築組合(四ツ屋浜)	14,700 円
大潟区ガス水道局大潟営業所大潟区ガス	
上下水道工事協会(四ツ屋浜)	43,350 円
J A えちご上越農協大潟支店協同活動委員会	24,510 円

●吉川支所

吉川剣道教室	支援資金
上越市母子寡婦福祉会	支援資金

●板倉支所

みやじまの里清心荘

吉澤八重子	50,000 円
板倉子ども会育成連絡協議会	支援資金
清水誠一	10,000 円

●三和支所

山本修	30,000 円
すいせんの里	
楚山博	50,000 円



物品

●本所

松風節子	支援物資
大原隆	オムツ、下着 4 セット
一般財団法人新潟県友会上越支部	
	タオル 58 枚
上越市シニア社交ダンスの会	タオル 179 枚
前山久枝	タオル 40 枚
上野智恵子	点字道具 1 セット
匿名	サラダオイル 2 本 他
大島清隆	紙オムツ 1 袋、紙パンツ 9 袋
	オムツパット 1 袋、おしり拭き 7 個
藤田優	コシヒカリ玄米 4 俵

デイホーム有田

岩崎延樹	オムツ 5 袋、尿取りパット 4 袋
	リハビリパンツ 2 袋

●安塚支所

安塚やすらぎ荘

たかき鍼灸マッサージ院(松崎)	
	タオル 100 枚
日下部進(安塚)	下駄箱 1 台
藤澤ヤエ子(蒲川原区下柿野)	
	シーツ 5 枚、男性衣類 2 枚、清拭 1 巻
長瀬軍栄(牧区柳島)	
	リハビリパンツ 119 枚、尿取りパット 298 枚
安塚商工会女性部(安塚)	雑巾 100 枚
珠坪文雄	お盆 1 枚
増田悦子(安塚)	
	紙オムツ 3 袋、オムツパット 10 袋、シート 3 袋
	消臭剤 2 個、ウエス 1 袋
匿名	紙パット・オムツ 5 袋
佐藤正信(須川)	じゃがいも 3 袋

●大島支所

丸田美佐子	テープ止めパンツ 30 枚
	はくパンツ 72 枚、尿取りパット 38 枚

●柿崎支所

佐藤純(上下浜)	紙オムツ・パット 3 袋
磯貝修司	衣類
匿名	タオル等 70 枚
丸田恵子	リングブルトップ 2 kg

●大潟支所

やすらぎの家

タキヤ理容所南雲義美(九戸浜)	
	業務用洗剤 3 箱



●頸城支所

渡部智恵子(下中島)	
	タオルケット 1 枚、シャツ 6 枚
	タオル 11 枚 他
水澤一	
	リハビリパンツ 5 袋、尿取りパット 6 袋
くびきの里	
中村榮一	
	オムツ 88 枚、オムツパット 226 枚

●吉川支所

往住昭平	支援物資
高倉ハル子	支援物資
いこいの里あさひ	
小山謙一	施設使用品 多数

●板倉支所

みやじまの里清心荘	
清水功	紙オムツ 200 枚

●三和支所

山本修	
	リハビリパンツ 5 袋、尿とりパット 1 袋 他

●名立支所

椿寿苑	
渡辺茂雄(平谷)	
	紙パンツ 6 袋、尿取りパット 8 袋

使用済切手

(株)上越フルーツ、下荒浜聖寿会、野口優里佳
日朝寺檀家一同、高田昭和町郵便局
新潟県立中央病院地域連携センター
直江津有田郵便局、第四銀行高田営業
部、丸山勝、犀潟郵便局、上田税務会
計事務所、(株) MARUWA 直江津工場
(資)増屋商店、(株)廣瀬上越店、割烹大善
前山久枝、金谷地区老人クラブ連絡協
議会、(株)滝田、(株)真田上越営業所、吉
川区総合事務所総務地域振興グループ
(有)渡辺工務店、関口藍子山岸久雄、(一財)
上越環境科学センター池田京子、エフ
ビー介護サービス(株)北諏訪分館利用者
一同、敦井産業(株)上越支店、第 7 地区
民生委員児童委員協議会、丸七商事(株)
(有)ヤカタ建設(株) ITEC、上越市漁業協同
組合、平浜博(株)オアシス MSC、新潟労
災病院店、牧商工会女性部、牧村郵便局
稲田郵便局上越運送(株)、竹田由佳、上
越勤労者福祉サービスセンター、匿名



映画 みんなの学校

「すべての子どもに居場所がある学校を作りたい」

大空小学校が目指すのは「不登校ゼロ」

ここでは特別支援教育の対象となる発達障害がある子ども、自分の気持ちをうまくコントロールできない子どもみんな同じ教室で学びます。映画は日々生まれ変わるように育っていく子供たちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者の苦悩や戸惑い、喜びを絶妙な近さからありのままに映していきます。みなさんも映画館で「学校参観」してみませんか？

**無料送迎バス(*要申込み)を
運行します。**

申込みは地域福祉課又は、最寄の各支所
へご連絡ください。

**入場無料
申込不要**

**手話通訳・要約筆記
あります。**

映画上映では、字幕及び FM
音声ガイド送信があります。
ラジオやイヤホンをお持ちください。

問合せ先 上越市社会福祉協議会
地域福祉課

☎025-526-1515

平成27年度 上越市 社会福祉 大会

考えてみよう、
わたしの常識

「一人ひとりがちがっていても、
いいんじゃない」

日時

平成27年

10月24日(土)

午後1時30分～

午後4時35分

場所

リージョンプラザ

上越 (下門前 446-2)

- 上越市社会福祉協議会会長表彰
地域福祉推進に貢献されている
皆様を表彰します。
- 映画上映「みんなの学校」
- 講話
「やすづか学園から見た
今の子どもたち」

不登校児の短期自立支援事業
～自由の学び舎～やすづか学園
学園長 流石 光信



やすづか学園の皆さん

やすづか学園では、さまざまな理
由で学校に行けない子どもたちを受
入れ、学びの場を提供しています。